

平成28年8月1日号 (No.166)

## 「工夫のない自分を恐れよ」

伊丹市立総合教育センター

所長 後藤 猛虎

「教師は授業で勝負する」とか、「教師は、授業が命」という言葉をよく耳にすることがあります。教師は、毎日くり返し授業をしています。教師の仕事は授業そのものだと言っても過言ではありません。そして、1時間の授業には、計画どおりに進まなかったり、授業を子どもたちが助けてくれたり、子どもの思いがけない発言に一喜一憂したり、様々なドラマがあります。授業を週20時間したとして、35年間行った場合、24,500回授業をすることになります。膨大な数の授業です。教師は、これをくり返しくり返し行っているのです。



さて、松下 幸之助氏は、仕事について次のようなことを話しています。

同じことを同じままにいくらくり返しても、そこには何の進歩もない。先例におとなしく従うのもいいが、先例を破る新しい方法を工夫することのほうが大切である。やってみれば、そこに新しい工夫の道もつく。失敗をすることを恐れるよりも生活に工夫のないことを恐れたほうがいい。

松下 幸之助 「道をひらく」より

松下 幸之助氏の言葉は、授業についても当てはまるように思います。同じパターンの授業をくり返しては、何の進歩もないということです。例えば、講義方式の一方的な授業ばかりしては、授業がマンネリ化し授業力の向上は望めません。授業への工夫が授業力の向上へつながるのです。そして、新しい工夫をしたときに、授業の中に子ども達の生き生きとした姿や感動あるドラマが生まれるのだと思います。

教育界では、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた授業改革の大きな波がもうそこまでやってきています。工夫のない自分を恐れる時代がやってくるのです。同じことを同じままにするのではなく、しっかりと授業研究を積み、授業力を鍛えてほしいものです。

# 授業改善

～子どもの成長と教師の力量アップのために～

「授業改善」について、段階毎に「教材研究」「授業実践」「授業・計画評価」「授業改善」として、PDCAサイクルに表しました。よりよい授業と子どもの成長のためには、現状を把握し、改善し続けていくことが大切です。魅力ある授業作りに向けて、ご活用下さい。

## 授業におけるPDCAサイクル

子どもの成長  
教師の力量アップ

P

plan・計画

教材研究

### 単元の構想

- 現在の**子どもの実態**を把握するとともに、めざす子ども像に向けて今までに取り組んできたことを**振り返る**(児童生徒観)
- 教材の内容を精査し、子どもたちを目標に近づけるための適切な**活用の仕方**を考える(教材観)
- 教材の活用方や学習形態など、指導の方法を考える(指導観)

### 単元計画

- めざす子どもの姿を設定し、目標に向けての全体計画を立てる
- どのように力をつけていくか、時間ごとの段階的な計画を立てる

### 本時の計画

- **めあて**と、どこまで到達したかを判断するための**評価基準**を設定する(めあてと評価基準)
- 子どもの活動や考えを想定し、どのような**発問**、補足をするか考える(学習活動・指導上の留意点)
- 子どもの意見のまとめ方について、どういった形の**板書**にするか想定しておく(板書計画)

D

do・実行

授業実践

### 計画をもとにした授業実践

- 子どもの実態に合った指示や**発問**
- 子どもの**意見の取り出し方**の想定
- **ワークシート・教具の工夫**・準備
- めあてになかなか到達できない**子どもへの支援**

### 指導案には記載されていない、大事なポイント

- 机の配置や教室掲示など、**学習環境の整備**
- 班活動や話形等、**学習活動の工夫**
- **学習規律の徹底**

A

action・改善への行動

授業改善

### 改善に向けて

- 授業の**参観者からのアドバイス**
- 授業記録の確認
  - ・ 子どもたちの**成果物**
  - ・ 音声やビデオの**記録**
- **評価の結果**の活用
- **研究会**への参加

### 改善のポイント

- 単元計画の改善
  - ・ 子どもの実態の再確認
  - ・ 評価をもとに、目標に至らなかった力をつけるための時間の設定
  - ・ 不必要な時間の削除
- 本時案の改善
  - ・ **発問**の改善(内容・タイミング等)
  - ・ **時間配分**の見直し(導入・展開・まとめ)
  - ・ **板書計画**の見直し
  - ・ **教材やワークシート**の改善

C

check・評価

授業・計画評価

### 評価すべきポイント

- 子どもたちはめざす子ども像へ到達できていたか【**到達できていなかったなら**】
- 子どもたちの**現状**をきちんと把握できていたか
- 全体計画に**無理はなかったか**
- 教具やワークシートは効果があったか
- 指導方法は適切だったか
  - ・ 指示、発問の**内容**
  - ・ 活動の**時間**の設定
  - ・ ペアワーク、グループワーク等、**学習形態**の設定

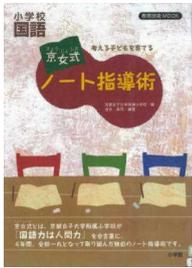
# 総合教育センター書籍紹介

総合教育センターで貸し出しをしている本の中から、授業作りや日々の指導に役立つものをピックアップして紹介します。また、今回紹介する本の著者は、今年度の夏季研修講座に講師としてお招きしています。書籍をお読みいただき、ぜひ、研修にもご参加下さい。

## 考える子どもを育てる京女式ノート指導術

著者 元京都女子大学教授 吉永 幸司 氏

8月4日(木) 10:00~12:00 第3回授業力向上講座 にて講演



小学校国語科におけるノート指導について、基本のポイントや学年毎の具体例等、押さえておくべきポイントが記載されています。また、板書の書き方等、国語科だけでなく、教師として身につけておきたい知識が分かりやすく書かれています。

## 「言語力」をつける社会科授業モデル(中学校編)

著者 兵庫教育大学副学長 米田 豊 氏・岩田 一彦氏

8月5日(金) 10:00~12:00 第4回授業力向上講座 にて講演



「言語力の育成」をテーマに、「記述・報告する力」「説明する力」「解釈・判断する力」といった、これからの社会で子どもに身につけさせるべき力について、具体的な授業モデルを用いて、どのように指導すればよいか詳細に書かれています。

# 2学期のスタートに向けて

夏休みの間に子どもたちは大きく成長します。教師は、2学期に向けて準備をする必要があります。1学期の振り返りをし、改善を図りましょう。

## 1学期の振り返り

### 【学級の決まり】

- ・日直や給食当番について、全員がきちんと働けていたか
- ・掃除当番や係活動で、形だけになっている役割はなかったか

### 【授業の決まり】

- ・あいさつや発表の仕方など、決まりを徹底できていたか
- ・授業準備や片付けがおろそかになっていなかったか

## 2学期はじめの準備

- 学級のきまり、授業のきまりを子どもの実態に合う形に改善しておく
- 教材研究をし、必要な教具やワークシートを作成しておく
- 席替えや教室掲示など、どのような形にするかを決めておく

## 学校行事の準備

- 日程を確認し、練習時間など、無理のないよう計画しておく
- 当日に向けて、事前に伝えておくべきことや、決めておくべきことを確認する

**素晴らしいスタートをきるために、しっかりと準備をしておきましょう！**